

# 24年度予算案に対して代表質問

## 新区庁舎で地中熱を利用

公明党横浜市会議員団 仁田 まさとし



### 仁田まさとし プロフィール

- 政策・総務・財政委員会副委員長
- 横浜経済活性化特別委員会委員
- 公明党横浜市会議員団団長
- ◇施政方針は「動く、創る、変える。」

ホームページ <http://www.nitta-m.jp/>

平成24年度の市予算案を  
審議する市会第1回定例会  
が2月2日から行われてい  
ます。私は2月23日の予算  
代表質疑で公明党横浜市  
議員団を代表し、市政運営  
の基本方針や市の課題につ  
いて、林市長や山田教育長  
に質問しました。

昨年12月、政府の国家プ  
ロジェクトとして、横浜市  
が、昨年の代表質疑で私が  
クの相互連携（BEMS）  
えられる南区総合庁舎で  
構築などを目指します。

今後、成功事例を市民に  
分かりやすく伝える「見え  
る化」が必要です。建て替  
えられる南区総合庁舎で  
構築などを目指します。

取り上げた「環境未来都市」  
に選定されました。低炭素  
型エネルギーネットワーク  
の構築や地域の支え合いに  
よる豊かな超高齢化社会の  
構築などを目指します。

成果を見えるようにすべ  
きと訴えました。これに対し  
林市長は「区庁舎は次世代  
に引き継ぐ貴重な財産。地  
中熱、自然エネルギーの効  
果的な活用などを検討して  
いきたい」と答弁しました。

### 区政参加の仕組み作り

市は区役所機能の強化に  
取り組んできました。今後  
多様化する地域特性に対応  
できるよう、地域の自治機  
能を高めることが重要だと  
主張しました。さらに、地  
域の課題を地域で解決でき  
る仕組みや区政参加の仕組  
み作りも必要で、それが市  
民協働の推進につながると

### スクーランチの導入を

訴えました。市民と行政が  
実質的に対等であるという  
市民協働の新たなルールを  
定める条例を提案したいと  
述べました。林市長は「区  
の裁量を高め、区民が区政  
参加できる仕組みの導入を  
検討したい」と答えました。

### 中・高生に防災教育

東日本大震災のように、  
平日昼間の災害では、成人  
の多くは職場にいるため、  
地域の中学生や高校生が重  
要な人材となります。学校  
で救護などの知識が得られ  
るような防災教育が必要と  
述べ、山田教育長は「今後  
中学生や高校生が地域の中  
で担う役割を防災教育に盛  
り込む」と答えました。

### 文章を書く喜び

子どもが「言葉の力」を  
付けることは重要な課題で  
付けることは重要な課題で  
付けることは重要な課題で

### 小児医療費助成が拡充へ

小児医療費の助成は平成  
4年に市会で初めて公明党  
が取り上げ創設されて以  
来、拡充を推進してしまし  
た。予算案には、通院にか  
かる医療費助成の対象を現  
在の就学前から小学1年生  
まで、5年ぶりに引き上げ  
るための予算が計上されま  
す。パソコン、携帯電話を  
使う子どもが増え、メール  
だけのやり取りに心配の声  
も聞かれます。顔を合わせ  
て話し合ったり、手紙で気  
持ちは伝えることは、かけ  
がえのないものです。7月  
23日の「ふみの日」に合わせ  
て、複数の方法を試行する  
モデル校を定め、検証した  
文章を書く習慣を身に付け  
ることや、手紙で伝える大  
切さを学校で教えるべきと  
訴えました。24年度、手紙  
を書く授業を行い、作品展  
が開催されるとのことです。

私は10年以上前から中学  
校の昼食を外業者者に委託  
する「スクーランチ」の  
導入を要望してきました。  
市は18年度から中学校昼食  
の検討を行っており、何ら  
かの判断をすべき時期が来  
ています。山田教育長は「  
24年度は栄養バランスを  
考慮した業者弁当の提供な  
ど、複数の方法を試行する  
23日の「ふみの日」に合わせ  
て、複数の方法を試行する  
モデル校を定め、検証した  
文章を書く習慣を身に付け  
ることや、手紙で伝える大  
切さを学校で教えるべきと  
訴えました。24年度、手紙  
を書く授業を行い、作品展  
が開催されるとのことです。